

都市再生整備計画 事後評価シート
金沢犀川南地区(Ⅱ期)

平成28年3月

石川県金沢市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県	市町村名	金沢市	地区名	犀川南地区		面積	650ha
交付期間	平成23年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成27年度	交付対象事業費	4101.3	国費率	0.40	

		事業名						
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	西金沢駅前広場線、西金沢駅通り線、松島西金沢線、御影町線、神田1丁目線、神田2丁目線、糸田新町線、米泉町9丁目線、八日市1丁目線、八日市2丁目線、新神田2丁目線外1路線、耐震性貯水槽設置事業 西金沢2丁目公園、米泉町2丁目公園						
	提案事業	JR西金沢駅駅舎橋上化事業、逆水門改良事業、金沢犀川南地区事業実施効果調査						
	当初計画から削除した事業	事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	新たに追加した事業	基幹事業	米泉町10丁目線外1路線			優良な住宅地の形成を誘導するとともに、駅西側の交通の利便性向上を図るため。		
	提案事業	米泉運動広場(仮称)、バリアフリー推進事業			地域交流の活性化等により豊かで住みやすいまちづくりを行うため。			
交付期間の変更	当初	平成23年度から平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-		
	変更	変更なし						

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	JR西金沢駅乗車人員数の増加	人/年	822,399	H20	840,000	H27	855,840	851,909	○	あり なし	JR西金沢駅西口において、松島西金沢線やJR西金沢駅駅舎橋上化事業が整備され駅の利便性が向上したことに加え、路線バスが開設・路線変更され郊外からの公共交通のアクセシビリティが向上したこと等が相乗効果となって、平成23年度以降は目標値を達成している。	平成28年7月
指標2	JR西金沢駅の利便性の向上	ha	12	H21	20	H27	20	46	○	あり なし	JR西金沢駅駅舎橋上化事業が完成し、自由に往来できるようになったため、効果が発現している。	
指標3	区域内人口の増加	人	33,165	H21	35,000	H27	34,075	34,768	△	あり なし	平成21年～27年での区域内人口は増加傾向にあり、目標達成目前である。JR西金沢駅駅舎橋上化事業や道路・公園等が整備されたことによって交通の利便性や生活環境は向上しており、これに加えて米泉ニュータウンにおいて住宅や商業施設が整備されつつあることから、区域内人口は、今後更に増加することが期待される。	平成28年4月


3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												

4) 定性的な効果発現状況
西金沢駅周辺が一体的に整備されたとともに、「米泉ニュータウン」においても住宅地や商業地が整備されつつあり、駅周辺の活性化やにぎわい創出がなされてきている。

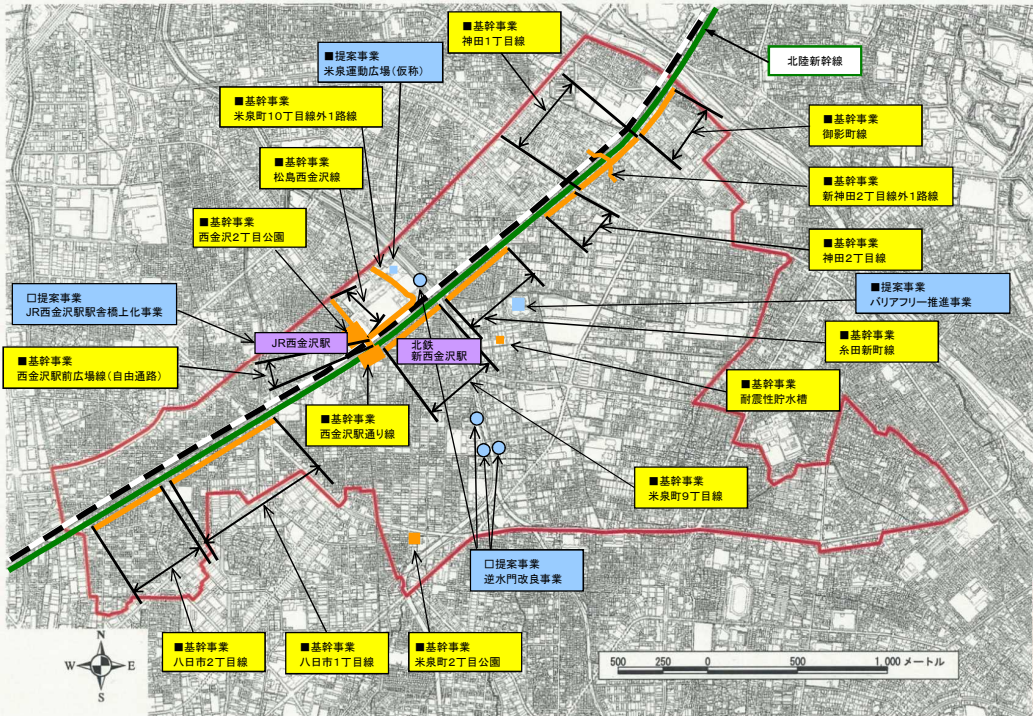
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
モニタリング	平成26年3月に金沢市統計データ集等によるモニタリングを実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	モニタリングの結果より、事業が順調に進められていることを確認した。最終年度に向けて、各事業の完成が見込まれた。		
住民参加プロセス		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
持続的なまちづくり体制の構築		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				

様式2-2 地区の概要


犀川南地区(石川県金沢市) 都市再生整備計画の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	JR西金沢駅乗車人員数の増加	人/年	822,399	H20	840,000	H27	851,909	H26
	JR西金沢駅の利便性の向上	ha	12	H21	20	H27	46	H27
	区域内人口の増加	人	33,165	H21	35,000	H27	34,768	H27




松島西金沢線




凡例
 基幹事業
 提案事業
 関連事業




糸田新町線




西金沢駅前広場線



米泉町9丁目線



米泉町10丁目線外1路線



西金沢駅通り線

まちな課題の変化	JR西金沢駅駅舎橋上化事業が完成し、道路・公園の整備を推進した結果、人口は増加傾向にある一方、交通量の増加等が懸念されるため、適切な交通処理等に十分留意していくことが必要である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	今後は、駅周辺の適切な交通処理による住民の安全性確保を図るとともに、公共交通の充実による住民の利便性向上を図っていく。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 都市再生整備計画評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	御影町線	18.0	L=250m	16.6	L=250m,W=8m	工事内容の見直しによる減額	影響なし	●	
道路	神田1丁目線	31.0	L=430m	24.4	L=430m,W=8m	実施設計・事業費の精査による減額	影響なし	●	
道路	神田2丁目線	14.0	L=200m	15.5	L=200m,W=8m	実施設計・事業費の精査による増額	影響なし	●	
道路	糸田新町線	33.0	L=470m	32.9	L=470m,W=8m	実施設計・事業費の精査による減額	影響なし	●	
道路	米泉町9丁目線	28.0	L=390m	26.3	L=390m,W=8m	実施設計・事業費の精査による減額	影響なし	●	
道路	八日市1丁目線	48.0	L=670m	22.2	L=670m,W=8m	工事内容の見直しによる減額	影響なし	●	
道路	八日市2丁目線	28.0	L=390m	42.7	L=390m,W=8m	工事内容の見直しによる増額	影響なし	●	
道路	新神田2丁目線外1路線	1,275.0	L=130m	1,191.1	L=130m,W=6m	工事内容の見直しによる減額	影響なし		●
道路	西金沢駅前広場線	565.6	L=40m	528.2	L=40m,W=4.5m	実施設計・事業費の精査による減額	影響なし	●	
道路	西金沢駅通り線	471.3	A=1,300㎡	372.4	A=1,300㎡	工事内容の見直しによる減額	影響なし	●	
道路	松島西金沢線	1,211.6	A=3,800㎡	944.8	A=3,800㎡	工事内容の見直しによる減額	影響なし	●	
道路	米泉町10丁目線外1路線	-	-	477.0	L=700m,W=14.85m	優良な住宅地の形成を誘導するとともに、駅西側の交通の利便性向上を図るため	影響なし	●	
公園	西金沢2丁目公園	72.0	A=1,400㎡	29.7	A=1,400㎡	実施設計・事業費の精査による減額	影響なし	●	
公園	米泉町2丁目公園	103.5	A=1,174㎡	79.8	A=1,174㎡	工事内容の見直しによる減額	影響なし	●	
地域生活基盤施設	耐震性貯水槽設置事業	16.0	-	21.0	-	実施設計・事業費の精査による増額	影響なし		●

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	JR西金沢駅駅舎橋上化事業	184.8	-	131.8		事業費の精査による減額	影響なし	●	
	逆水門改良事業	42.0	-	29.1		事業費の精査による減額	影響なし	●	
	米泉運動広場(仮称)	-	-	111.4	A=7,800㎡	良好な住環境の形成により、生活の質の向上を図るため	生活の質の向上が図れ、区域内の人口増加に関連するが、指標及び数値目標は据え置く	●	
	バリアフリー推進事業	-	-	1.3		バリアフリー化により、豊かで住みやすいまちづくりを行う	豊かで住みやすいまちづくりに寄与し、区域内の人口増加に関連するが、指標及び数値目標は据え置く	●	
事業活用調査	金沢犀川南地区事業実施効果	3.0	-	3.1		事業費の精査による増額	影響なし		●
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

(参考) 関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画			
街路灯設置事業		区域内全域	5.0	5.0	平成23年度～ 平成27年度	平成23年度～ 平成27年度			

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	基準 年度	従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの有無	
					基準 年度	目標 年度	モニタリング	事後評価	見込み	評価	○	●	あり	なし	
指標1	JR西金沢駅の乗車人員数の増加	人/年	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社発表のJR乗車人員数		822,399	H20	840,000	H27	モニタリング	H23	855,840	モニタリング	○		
									事後評価	確定見込み	●	851,909	事後評価	○	
指標2	JR西金沢駅の利便性の向上	ha	駅までの徒歩圏域の面積を、5分圏域として算出		12	H21	20	H27	モニタリング	H25	20	モニタリング	○		
									事後評価	確定見込み	●	46	事後評価	○	
指標3	区域内人口の増加	人	金沢市調査統計室による「金沢市統計データ集の町丁別人口・世帯数」を参照		33,165	H21	35,000	H27	モニタリング	H25	34,075	モニタリング	△		●
									事後評価	確定見込み	●	34,768	事後評価	△	
指標4									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み			事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	駅西口において、松島西金沢線やJR西金沢駅駅舎橋上化事業が整備され駅の利便性が向上したことに加え、路線バスが開設・路線変更され郊外からの公共交通のアクセス性が向上したこと等を要因として、平成23年年度以降は目標値を達成している。	
指標2	JR西金沢駅駅舎橋上化事業が完成し、自由に往来できるようになったため、効果が発現したと考えられる。	
指標3	平成21年～27年での区域内人口は増加傾向にあり、目標達成目前である。JR西金沢駅駅舎橋上化事業や道路・公園等が整備されたことによって交通の利便性や生活環境は向上しており、これに加えて米泉ニュータウンにおいて住宅や商業施設が整備されつつあることから、区域内人口は、今後更に増加することが期待される。	
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度			
その他の 数値指標1							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標2							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標3							モニタリング		
							事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

西金沢駅周辺が一体的に整備されたとともに、「米泉ニュータウン」においても住宅地や商業地が整備されつつあり、駅周辺の活性化やにぎわい創出がなされてきている。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
金沢市統計書等によるモニタリング	予定どおり実施した	●【実施頻度】中間年次である3年目(平成25年度)に1回 【実施時期】平成25年度 【実施結果】事業特性及び地域事情を踏まえたモニタリング実施事項の把握 確認に必要なデータやサンプルのチェック	モニタリングの結果より、事業が順調に進められていることを確認した。最終年度に向けて、各事業の完成が見込まれた。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織	都市計画課が主体となり、事業に関わる課(障害福祉課、緑と花の課、道路建設課、内水整備課、消防総務課、市民スポーツ課)	平成27年7月～9月	都市計画課(都市再生整備計画事業主管課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標1		指標2					
指標名		JR西金沢駅の乗車人員数の増加		JR西金沢駅の利便性の向上					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	御影町線	○	JR西金沢駅西口において、松島西金沢線やJR西金沢駅駅舎橋上化事業が整備され駅の利便性が向上したことに加え、路線バスが開設・路線変更され郊外からの公共交通のアクセス性が向上したこと等が相乗効果となって、平成23年度以降は目標値を達成している。	-	JR西金沢駅駅舎橋上化事業や道路整備により徒歩5分圏域面積が広まり、利便性が向上している。	-		-	
	神田1丁目線	○		-					
	神田2丁目線	○		-					
	糸田新町線	◎		-					
	米泉町9丁目線	◎		◎					
	八日市1丁目線	○		-					
	八日市2丁目線	○		-					
	新神田2丁目線外1路線	○		-					
	西金沢駅前広場線	◎		◎					
	西金沢駅通り線	◎		◎					
	松島西金沢線	◎		◎					
	米泉町10丁目線外1路線	◎		◎					
	西金沢2丁目公園	○		○					
	米泉町2丁目公園	-		-					
	耐震性貯水槽設置事業	-		-					
提案事業	JR西金沢駅駅舎橋上化事業	◎	◎	-	-	-	-	-	-
	逆水門改良事業	-	-	-	-	-	-	-	-
	米泉運動広場(仮称)	-	-	-	-	-	-	-	-
	バリアフリー推進事業	-	-	-	-	-	-	-	-

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後も、新たな企業の立地・転入等に伴う通勤・通学利用者の増加が期待される。	JR西金沢駅駅舎橋上化事業の完成、道路・公園の整備によって、JR西金沢駅の利便性の向上が図られた。今後は、バス路線網の充実により、周辺地域と交通結節点との連携強化を図る必要がある。		
-------	---------------------------------------	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標3							
指標名		区域内人口の増加							
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	御影町線	△	平成21年～27年での区域内人口は増加傾向にあり、目標達成目前である。JR西金沢駅駅舎橋上化事業や道路・公園事業等が完了したことによって交通の利便性や生活環境は向上しており、これに加えて米泉ニュータウンにおいて住宅や商業施設が整備されつつあることから、区域内人口は、今後更に増加することが期待される。						
	神田1丁目線	△							
	神田2丁目線	△							
	系田新町線	△							
	米泉町9丁目線	△							
	八日市1丁目線	△							
	八日市2丁目線	△							
	新神田2丁目線外1路線	△							
	西金沢駅前広場線	△							
	西金沢駅通り線	△							
	松島西金沢線	△							
	米泉10丁目線外1路線	△							
	西金沢2丁目公園	△							
	米泉町2丁目公園	△							
耐震性貯水槽設置事業	△								
提案事業	JR西金沢駅駅舎橋上化事業	△							
	逆水門改良事業	△							
	米泉運動広場(仮称)	△							
	バリアフリー推進事業	△							

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ー: 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	当該区域の人口増加ペースは市全体よりも良好であり、近年中の目標達成が期待できる。今後は、公共交通の充実等の地域の利便性向上等によって、より多くの定住促進を図っていく。			
------------------	---	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織	都市計画課が主体となり、事業に関わる課(障害福祉課、緑と花の課、道路建設課、内水整備課、消防総務課、市民スポーツ課)	平成27年7月～9月	都市計画課(都市再生整備計画事業主管課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
JR西金沢駅の東西を結ぶ自由通路の整備	JR西金沢駅駅舎橋上化事業は完成し、JR西金沢駅へのアクセス道路も完成した。	—	JR西金沢駅駅舎橋上化事業が完成し、道路・公園の整備を推進した結果、人口は増加傾向にあるが、一方で交通量の増加等が懸念されるため、適切な交通処理等に十分留意していく必要がある。
JR西金沢駅周辺と側道の整備	西金沢2丁目公園など、JR西金沢駅周辺の整備が完成し、北陸新幹線の側道も概ね完成している。	—	
居住環境の向上による安心して暮らせるまちづくり	公園や水門改良などの生活環境の改善により、安全性が向上し、区域内の人口が増加傾向にある。	整備された良好な住環境を活用し、区域内の定住人口のさらなる増加を進めていく必要がある。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	JR西金沢駅の利便性を持続させる方策	西金沢駅周辺は、今年度策定中の「集約都市形成計画」において、交通拠点に位置づけることが予定されている。これを踏まえ、交通拠点に相応しい公共交通の充実策を推進することにより、西金沢駅の利便性を持続・強化する。	住民ニーズに応じたバス運行路線・本数の強化 公共交通サービスの強化(共通乗車券の設定、乗継運賃割引の拡大等)

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	住みやすい環境づくりに向けた対策	住みやすい環境づくりに向けて、安全な交通環境を確保するとともに、独自条例に基づく、市民との協働による魅力あるまちづくりを推進する。	歩行者や自転車等への注意喚起を促す案内サインやカーブミラーの設置、路面の表示、まちづくり協定の締結等

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

JR西金沢駅に隣接する米泉ニュータウンで住宅と商業機能の一体的な開発が進められていることから、歩行者、自転車の通行量や自動車等の交通量が増加し、地区交通が混雑することが予測される。今後は、案内サインやカーブミラーの設置、路面の表示に加え、公安委員会と連携して自動車、自転車等の適切な交通誘導等により、区域内の安全性を確保することが必要となる。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	JR西金沢駅乗車人員数の増加	人/年	822,399	H20	840,000	H27	確定 ●	851,909	○	あり	→	平成28年7月	平成27年度データが発表され次第、確定値とする	
							見込み			なし				
指標2	JR西金沢駅の利便性の向上	ha	12	H21	20	H27	確定 ●	46	○	あり	→			確定
							見込み			なし				
指標3	区域内人口の増加	人	33,165	H21	35,000	H27	確定 ●	34,768	△	あり ●	→	平成28年4月	平成28年4月1日データが発表され次第、確定値とする	
							見込み ●			なし				
指標4							確定			あり	→			
							見込み			なし				
指標5							確定			あり	→			
							見込み			なし				
その他の数値指標1							確定				→			
							見込み				→			
その他の数値指標2							確定				→			
							見込み				→			
その他の数値指標3							確定				→			
							見込み				→			

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	交通結節点の機能強化を測る指標として「駅の乗車人員数」を設定した結果、数値目標が達成された。 公表されている数値を目標指標に設定したことにより、数値の整理を迅速に行うことができた。	公表されている数値を指標に設定することにより、迅速に数値を整理することが可能になる。
	うまくいかなかった点		
	うまくいった点	道路事業が完成して、駅へのアクセス性が向上したことにより、「JR西金沢駅乗車人員数の増加」(指標1)が進行し、「JR西金沢駅の利便性の向上」(指標2)が高まった。 また公園事業の完成は、住環境の向上をもたらし、「区域内人口の増加」(指標3)の数値の向上に関連している。	事業の完成が、数値目標に反映されるよう整合を図る必要がある。
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	モニタリングを中間年次である3年目(平成25年度)に実施したことにより、計画に位置づけられた事業が順調に進められることを確認することができた。	今後は他地区においても同様にモニタリングを実施し、進捗状況を把握することが効果的である。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

今後、都市再生整備計画の活用予定地区
未定

今後、事後評価を予定している地区
金沢中央地区(Ⅲ期、H26～30)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成27年12月1日(火) ～12月15日(火)	-	-	都市計画課 (都市再生整備計画事業 業主幹課)
	広報に掲載	-	-		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	市役所窓口で閲覧	-	-		

住民の意見	意見なし
-------	------

(6) 都市再生整備計画評価委員会の審議

添付様式8 都市再生整備計画評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	馬場先 恵子(金沢学院大学教授) 小林 史彦(金沢大学 講師)	平成27年12月24日(木)	都市計画課 (都市再生整備計画事業主管課)	金沢市都市再生整備計画評価委員会設置要綱	平成25年に開催したまちづくり交付金(金沢中央地区)評価委員のメンバー
	半田 隆彦(社)金沢経済同友会理事) 東 良勝(金沢市町会連合会長) 能木場 由紀子(金沢市校下婦人会連絡協議会会長)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	方法書に従って事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	各指標の達成状況について、指標①「JR西金沢駅乗車人員数の増加」と指標②「JR西金沢駅の利便性の向上」は目標を達成し、指標③「区域内人口の増加」は目標達成の目前であることが確認された。
	実施過程の評価	モニタリングの実施により事業が順調に進められたことが確認されており、実施過程の評価は妥当と認められた。
	効果発現要因の整理	効果発現要因は妥当と認められた。
	事後評価原案の公表の妥当性	事後評価原案の公表は妥当と認められた。
	その他	特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	米泉ニュータウンの開発においては、商業施設や事務所等の立地が予定されているが現時点では未整備であるため、これらの施設の整備状況を踏まえながら、必要な交通処理対策を検討・推進することで了承を得た。
	フォローアップ	指標①「JR乗車人員数の増加」に関して、平成27年度データが公表され次第確定値とする(平成28年7月公表予定)。 指標③「区域内人口の増加」に関して、平成28年4月1日データが公表され次第確定値とする(平成28年4月公表予定)。
	その他	特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	本委員会での意見を踏まえた今後のまちづくり方策は妥当と認められた。
その他	特になし。	

※1 審議事項の詳細は「都市再生整備計画評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、都市再生整備計画評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	特に実施せず
--------	--------